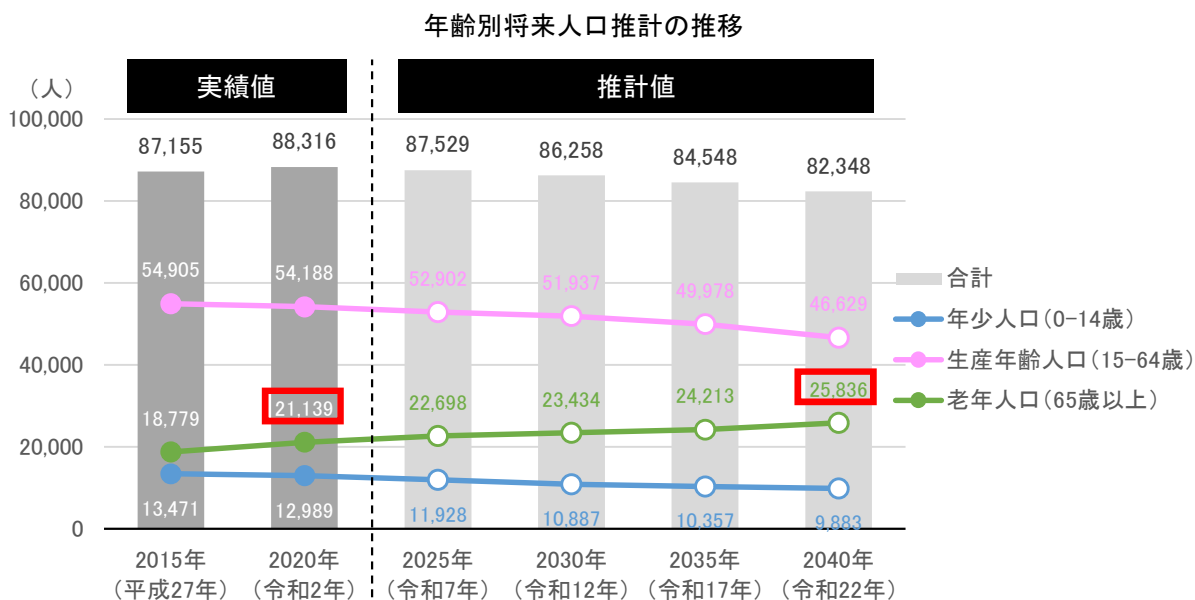


## 2 袋井市の都市と公共交通の現況

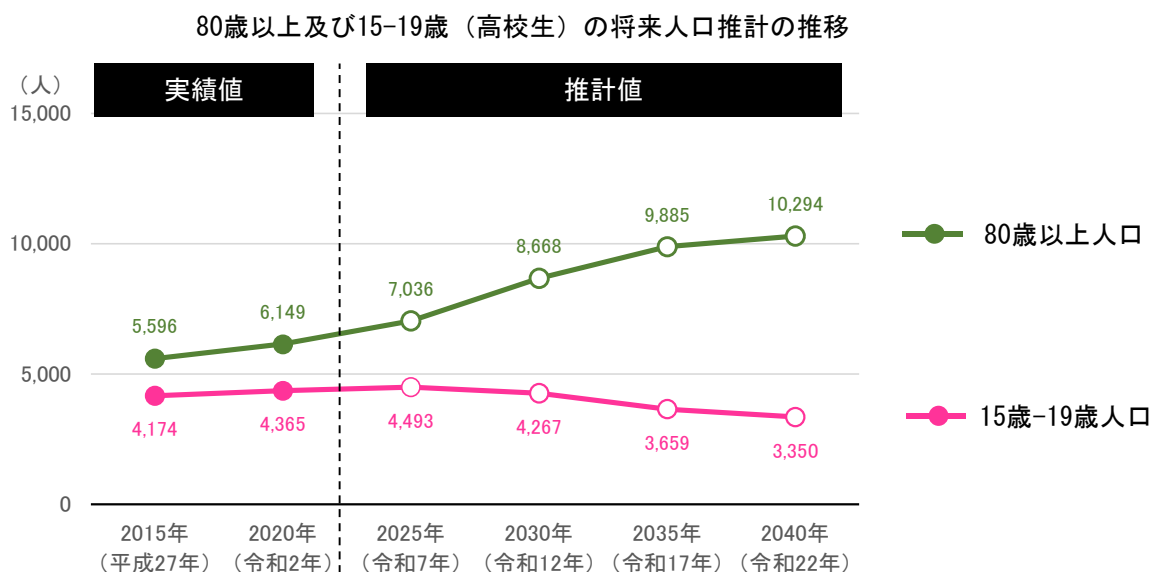
### 2-1 人口

#### (1) 人口構成

- ・本市の人口は、現在も微増傾向にあるが、2025年度あたりから減少に転ずると予測されている。
- ・年齢階層別に見ると若者は減少し、高齢者は増加すると予測されている。



(出典：第2次袋井市総合計画及び人口推計値内訳資料)

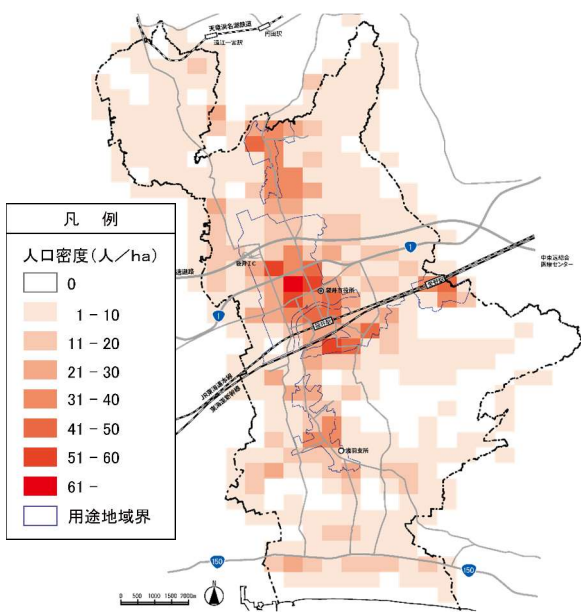


(出典：第2次袋井市総合計画及び人口推計値内訳資料)

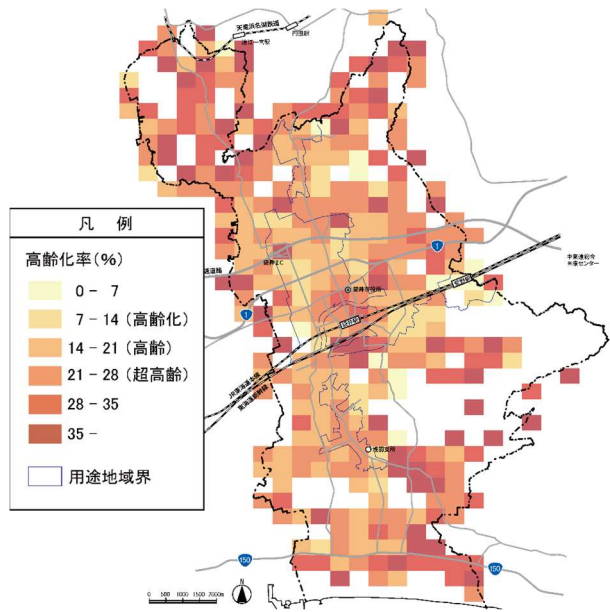
## (2) 人口分布

- ・本市の人口は、用途地域周辺（特に袋井駅周辺、愛野駅周辺、上山梨、浅羽支所周辺）に集中している。
- ・市域外縁部に集落が点在しており、用途地域内より高齢化率が高い。
- ・公共交通を必要としている高齢者は、分散する集落地域で割合が高いものの、用途地域内に比べて絶対数は少ない状況である。

【人口密度】

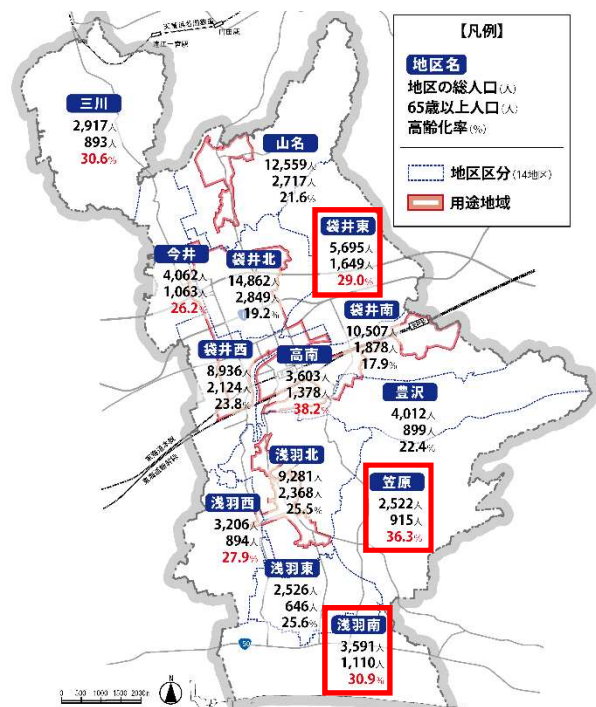


【高齢化率】



(資料：H27年国勢調査)

- ・地区別（コミュニティセンターを中心とした市内14地区）では、「三川」「高南」「笠原」「浅羽南」地区で高齢化率が30%を上回っている。

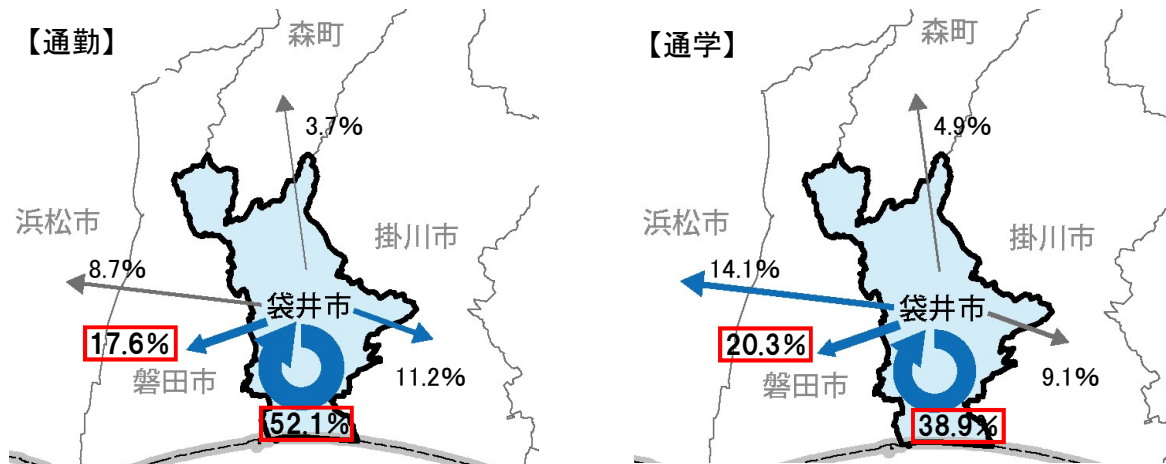


(資料：住民基本台帳、令和2年10月1日現在(外国人含む))

## 2-2 移動特性

### (1) 通勤・通学流動

- ・通勤者は5割以上が袋井市内で、2割が磐田市、1割が掛川市へ通っている。
- ・通学者は4割が袋井市内で、2割が磐田市、1割が掛川市・浜松市へ通っている。



(資料：H27国勢調査)

### (2) 代表交通手段

- ・移動手段の8割以上を「自家用車・タクシー」が占めており、県平均と比較しても非常に高い割合である。
- ・逆に、「鉄道」「乗合バス・通勤通学バス」は3%と低く、公共交通の利用者は非常に限定的である。

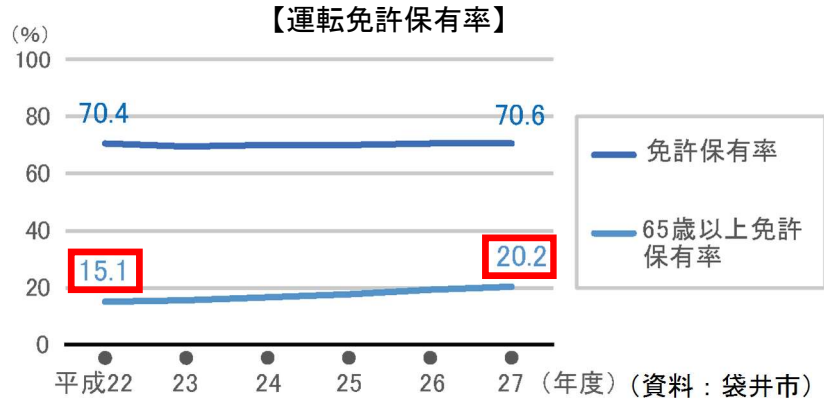
【代表的な交通手段構成比】



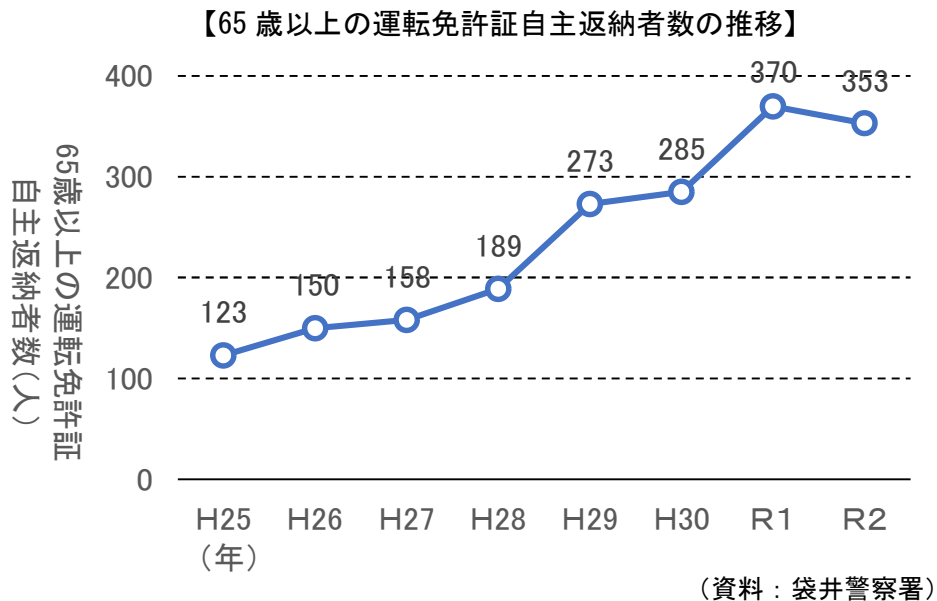
(出典：袋井市立地適正化計画)

### (3) 免許保有状況

- ・本市の運転免許保有率は7割以上であるが、そのうち2割以上が65歳以上であり、高齢者の免許保有率は年々増加傾向にある。
- ・今後は高齢者であっても運転できる方が増えることが予想される。



- ・本市における65歳以上の運転免許証自主返納者の推移は以下のとおりである。
- ・平成25年以降増加傾向にあり、近年の自主返納者は350人程度となっている。
- ・今後の人口高齢化に伴い自主返納を希望する人が多くなることが予想される。



- ・運転免許証自主返納者の平均年齢は、約 80 歳となっている。
- ・これを踏まえ、コミュニティセンター地区別（14 地区）における運転免許証自主返納の対象（80 歳）となる高齢者数及び高齢化率は以下のとおりである。
- ・特に、集落地域かつ高齢化率が高い地区として、「袋井東地区」「笠原地区」「浅羽南地区」が抽出される。

■運転免許証自主返納者数と返納時の平均年齢（H30. 4～R2. 9）

	男性	女性	全体
人数	379 人	325 人	704 人
平均年齢（返納時）	81.1 歳	78.4 歳	<b>79.8 歳</b>

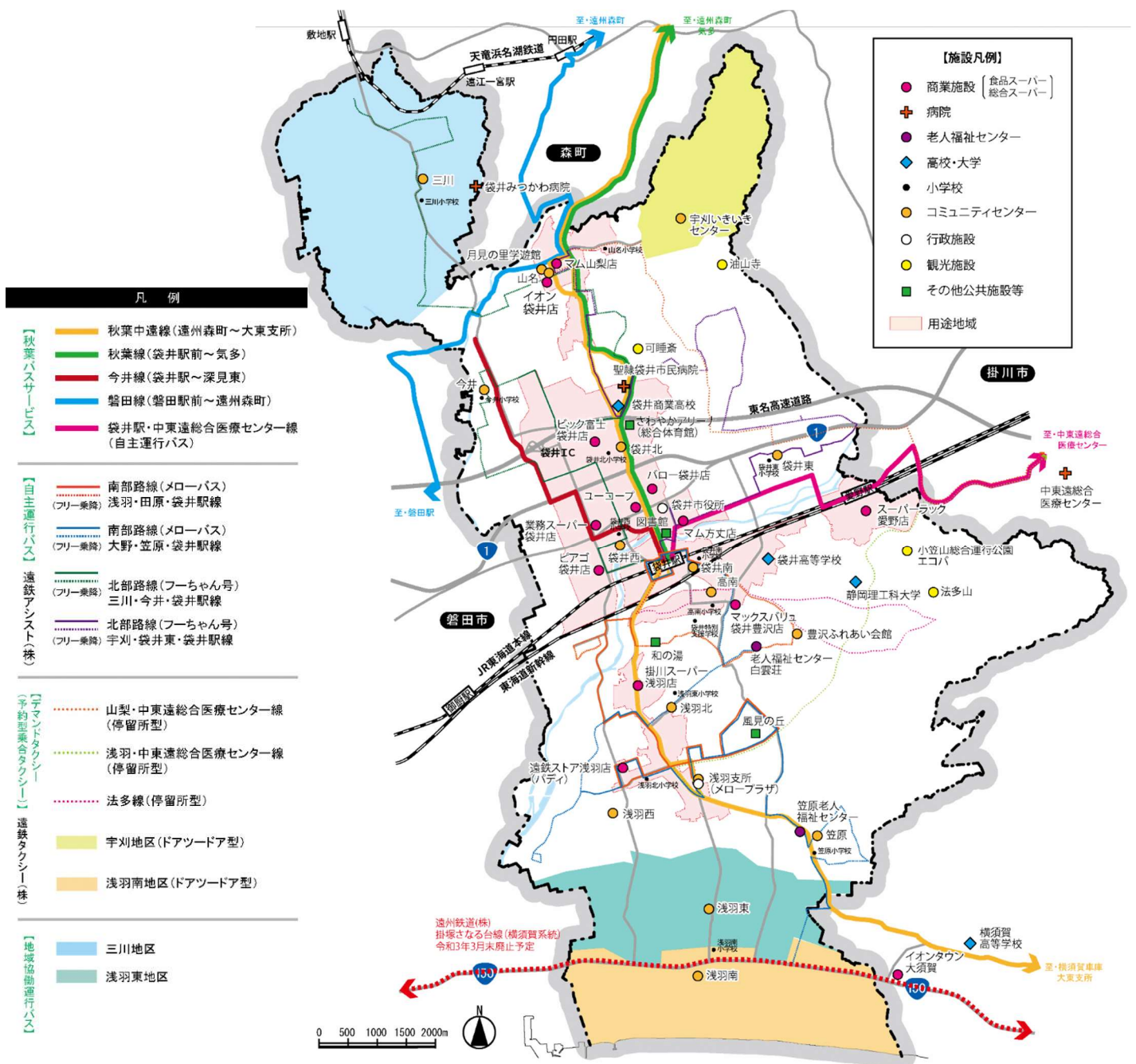
■コミュニティセンター別の高齢者数（R2. 9. 30）

コミュニティセンター名	総人口	80歳以上人口		75歳以上人口	
袋井東	5,695人	423人	7.4%	716人	12.6%
袋井西	8,936人	682人	7.6%	1,054人	11.8%
袋井南	10,507人	657人	6.3%	994人	9.5%
袋井北	14,862人	784人	5.3%	1,307人	8.8%
今井	4,062人	286人	7.0%	457人	11.3%
三川	2,917人	318人	10.9%	465人	15.9%
笠原	2,522人	308人	12.2%	475人	18.8%
山名	12,559人	848人	6.8%	1,318人	10.5%
高南	3,603人	401人	11.1%	747人	20.7%
豊沢	4,012人	257人	6.4%	424人	10.6%
浅羽東	2,526人	176人	7.0%	288人	11.4%
浅羽西	3,206人	205人	6.4%	348人	10.9%
浅羽南	3,591人	357人	9.9%	548人	15.3%
浅羽北	9,281人	575人	6.2%	965人	10.4%
計	88,279人	6,277人	7.1%	10,106人	11.4%

（資料：運転免許証自主返納者報奨金受付簿（H30. 4～R2. 9））

## 2-3 公共交通サービス

- ・袋井市における現況の公共交通ネットワークは、以下に示すとおりである。
  - ・本市には、JR東海道本線が市中心部を横断し、袋井駅と愛野駅が立地している。
- 路線バスとしては、秋葉バスサービス株式会社、遠州鉄道株式会社（令和3年3月末に撤退予定）が運行しており、市では自主運行バス、デマンドタクシー、地域協働運行バスを運行している。
- ・各輸送モードについて、次ページから詳細な運行状況・利用状況を整理した。



## (1) 鉄道

### 【運行状況】

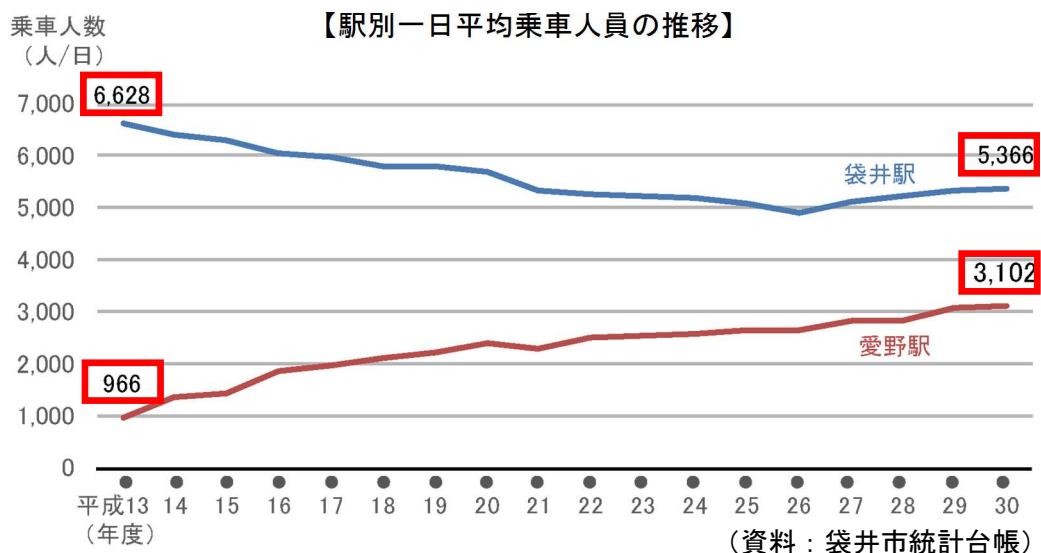
- ・本市中央部を横断するようにJR東海道本線が運行しており、市内に2駅（袋井駅、愛野駅）が立地している。
- ・市域の北端に天竜浜名湖鉄道が運行しているが、市内に駅は立地していない。
- ・袋井駅はホームライナー（朝夕のみ1本/時間）が停車し、愛野駅普通のみ停車である。JR東海道本線の運行状況は、袋井駅で朝夕のピーク時は5本/時間程度が運行しており、主に浜松市、磐田市等への通勤・通学の移動手段として利用されている。

### ■運行概要

	平日		土曜・休日	
	静岡・沼津方面	浜松・豊橋方面	静岡・沼津方面	浜松・豊橋方面
袋井駅	77本(普:73、ホ:4) 【ピーク5本/時】	76本(普:72、ホ:4) 【ピーク6本/時】	75本(普:73、ホ:2) 【ピーク6本/時】	73本(普:72、ホ:1) 【ピーク6本/時】
愛野駅	73本 【ピーク5本/時】	72本 【ピーク5本/時】	73本 【ピーク5本/時】	72本 【ピーク5本/時】

### 【利用状況】

- ・袋井駅の一日平均乗車人数（平成30年度）は約5,400人/日で、平成13年度以降減少傾向であったが、近年は微増傾向にある。
- ・一方、愛野駅は約3,100人/日であり、駅周辺の開発もあり一日平均乗車は増加の一途をたどっている。



## (2) 路線バス

### 【運行状況】

・市内には、秋葉バスサービス（株）と遠州鉄道（株）による民間路線バスが運行している。

・秋葉バスサービス（株）：市内5路線（秋葉線、秋葉中遠線、磐田線、今井線）を運行している。特に「秋葉中遠線と秋葉線」は、市域中央を縦断し、1日30本以上の運行頻度があることから本市にとって基幹的な役割を果たす。その一方で経路違いなどにより12系統が存在し、非常に複雑な運行となっている。「磐田線」は上山梨地区を運行している。



・また、秋葉バスサービス（株）では、通勤通学用の片道定期券やウィークデー定期券を導入しており、山名小学校、袋井西小学校は通学に活用（秋葉中遠線、今井線）している。

・遠州鉄道（株）：平成30年度まで市内に7路線が運行していたが、平成31年4月に3路線、令和元年に3路線が廃止となった。令和3年4月には残る「掛塚さなる台線」についても廃止され、遠州鉄道（株）の市内路線は全て廃止となる。それら廃止代替路線として、市が自主運行バスやデマンドタクシー等を導入している。

・秋葉バスサービス（株）の車両のバリアフリー化の状況（令和2年7月現在）は、ノンステップバスが約5割であり、ワンステップバスも含めたバリアフリー化率は約9割となっている。国庫補助により、ツーステップバスをノンステップバスへと随時移行している。



■運行概要

(上=袋井駅方面もしくは磐田駅方面)

事業者名	路線名 (キロ)	起点	終点	経由	運行本数		運賃	補助			
					平日	土日祝		国県	市		
秋葉バス サービス 株式会社	秋葉中遠線 (13.0)	袋井駅前	遠州森町	市民病院	上12 下15	上11 下11	距離制	○	○		
	秋葉中遠線 (12.0)	袋井駅前	遠州森町	横手橋	上1 下2	上1 下3					
	秋葉中遠線 (14.5)	袋井駅前	遠州森町	市民病院 森町病院	上4 下4	-					
	秋葉中遠線 (30.7)	大東支所	遠州森町	袋井駅前 市民病院	上2 下1	-					
	秋葉中遠線 (21.0)	大東支所	市民病院	新横須賀 袋井駅前	上1 下1	-					
	秋葉中遠線 (3.3)	袋井駅前	市民病院	永楽町	上1 下1	-					
	秋葉中遠線 (11.7)	袋井駅 南口	横須賀 車庫前	新横須賀	上22 下25	上11 下13		○			
	秋葉中遠線 (17.7)	袋井駅 南口	大東支所	新横須賀	上9 下8	上9 下8		○			
	秋葉中遠線 (13.5)	袋井駅前	遠州森町	市民病院 パティオ	上7 下6	上4 下4					
	秋葉中遠線 (5.0)	袋井駅 南口	浅名	諸井	-	上1 下1					
	秋葉中遠線 (5.0)	浅名	袋井駅 南口	浅羽支所 諸井	-	上1 下1					
	秋葉線 (43.5)	袋井駅前	気多	市民病院 遠州森町	上8 下8	上4 下4		距離制		○	○
	磐田線 (22.0)	遠州森町	磐田駅前	森町病院	上2 下2	-		距離制			○
	磐田線 (21.7)	遠州森町	磐田駅前	森山入口	上3 下3	-					
	今井線 (6.6)	袋井駅前	深見東	川井・ 土橋	上3 下2 (上4 下2)	(上1 下3)		距離制			○
袋井駅・中 東遠総合医 療センター 線(10.7)	袋井駅前	中東遠総 合医療セ ンター	愛野駅前	上12 下11	-	1乗車 200円	○	○			
遠州鉄道 株式会社	掛塚さなる 台線	浜松駅	横須賀	掛塚 福田車庫	上5 下3	上4 下3	距離制	○			
	掛塚さなる 台線	掛塚	横須賀	福田車庫	下1	-					

■車両のバリアフリー化の状況 (秋葉バスサービス (株))

	ノンステップ バス	ワンステップ バス	ツーステップ バス	合計
台数	12台	8台	3台	23台
割合	52.2%	34.8%	13.0%	100%

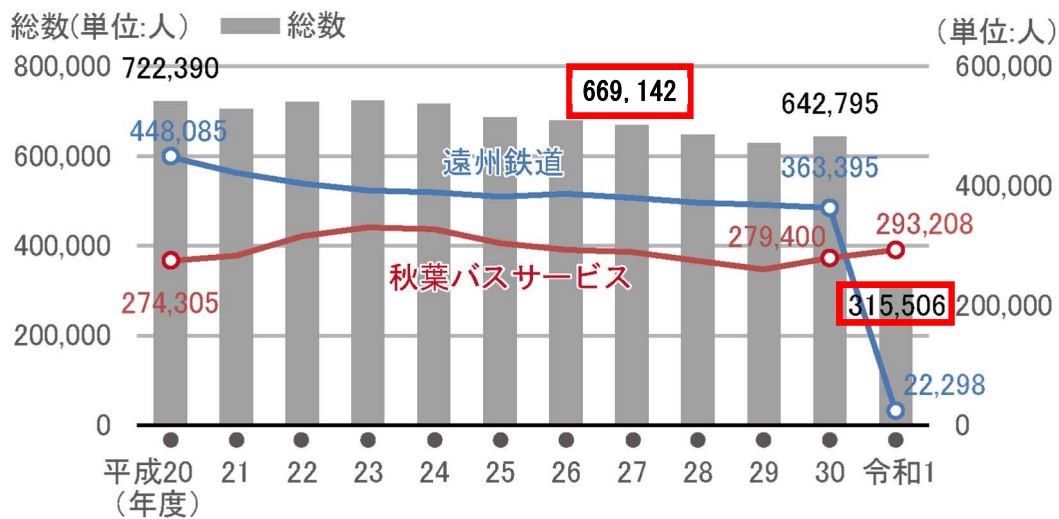
(資料：袋井市協働まちづくり課)



### 【利用状況】

- ・秋葉バスサービス（株）：直近10年間ではほぼ横ばいで推移し、近年は微増傾向にある。
- ・遠州鉄道（株）：平成20年度から10年間で乗車人数が減少の一途をたどっていたが、平成31年3月末、令和元年9月末で計7路線が廃止になり乗車人数は激減している。
- ・「袋井駅・中東遠総合医療センター線」は平成25年度以降、利用が増加傾向にある。

【事業者別の年間乗車人数の推移】



(資料：袋井市統計台帳)

## 【利用実態調査】

- ・秋葉バスサービス（株）が運行する市内3路線（秋葉中遠線・秋葉線、磐田線、今井線）について、既往OD調査データを整理し、利用実態を把握した。
- ・OD調査から得られた利用実態のまとめは以下のとおりである。

### 《OD調査の結果まとめ》

#### ●秋葉中遠線・秋葉線

- ・袋井駅と袋井商業高校間での利用が最も多く、袋井駅と遠江総合高校間（森町）の利用も多くなっている。高校生の通学利用が6割\*程度を占める。（※通学定期＋学生パスカード利用率から算出）

#### 【便別（平日）】

- ・秋葉線（袋井駅前⇄気多）は上り下りいずれも6時台にピークがあり、主に学生の利用である。午後は上り（袋井駅前行き）において、15時台と17時台にピークがありいずれも学生による利用である。
- ・秋葉中遠線（遠州森町→市民病院→袋井駅前）も秋葉線と同様に朝6時と15時台にピークがあり主に学生による利用である。
- ・秋葉線（イオン経由）は、他の系統と異なり、一般利用が多くイオン方面は8時台、17時台、袋井駅前方面は18時台にピークがある。
- ・秋葉中遠線（袋井駅南口⇄横須賀車庫・大東支所）では、下りが7時台、上りが16時、17時台にピークがあり、北側の系統に比べ一般利用の割合が高い。

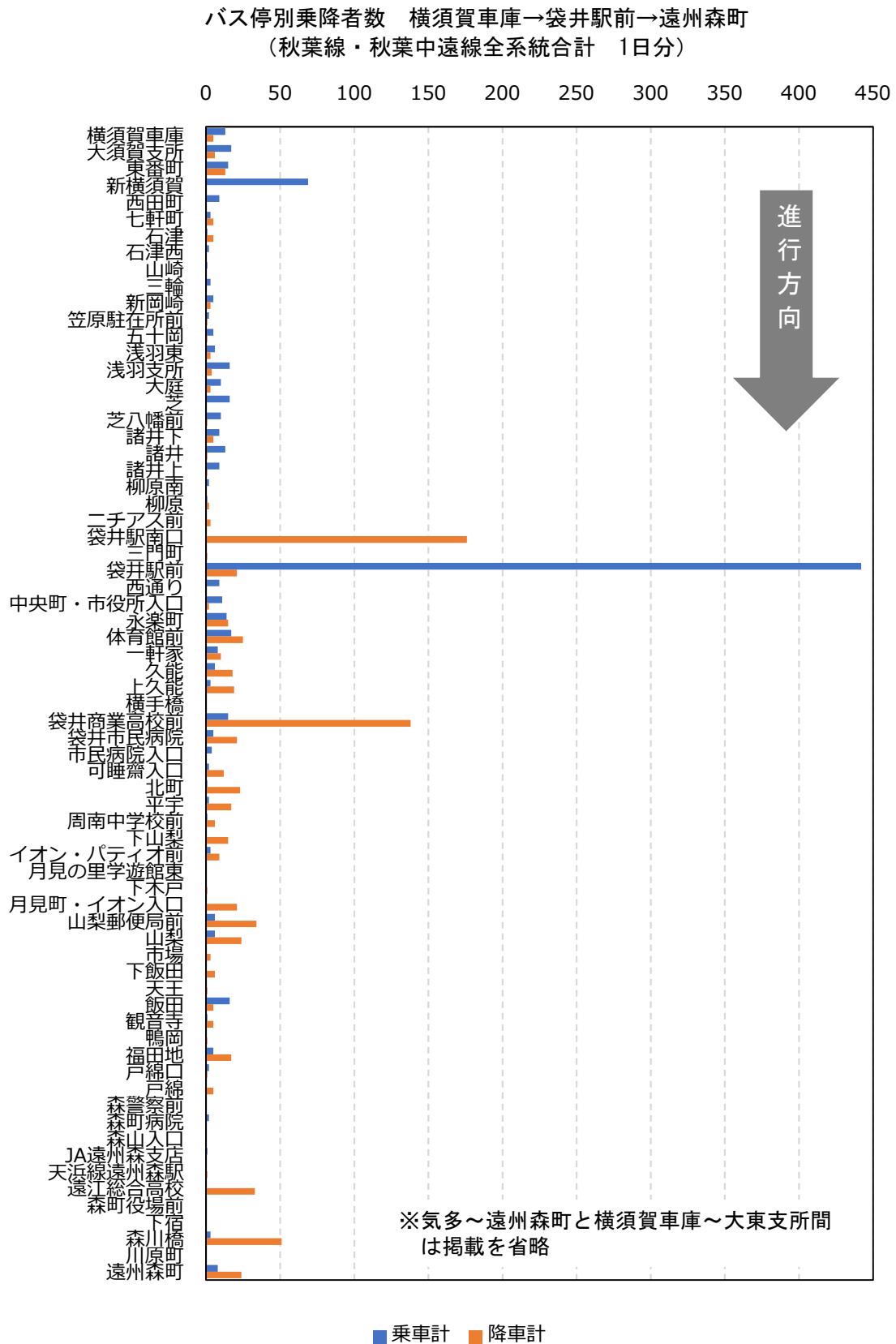
#### ●磐田線

- ・市民の利用としては山梨地区から磐田北高校や磐田南高校、遠江総合高校（森町）への通学利用が中心であり、最も磐田北高校生が多い。
- ・便別（平日）では、上り下りいずれも7時台にピークがあり、主に学生による利用である。

#### ●今井線

- ・1日あたり15名程度の小学生が往復で利用（袋井西小学校）。一般利用は数名のみである。
- ・便別（平日）では、概ね上り7時台と下り15時台のみの利用となっている

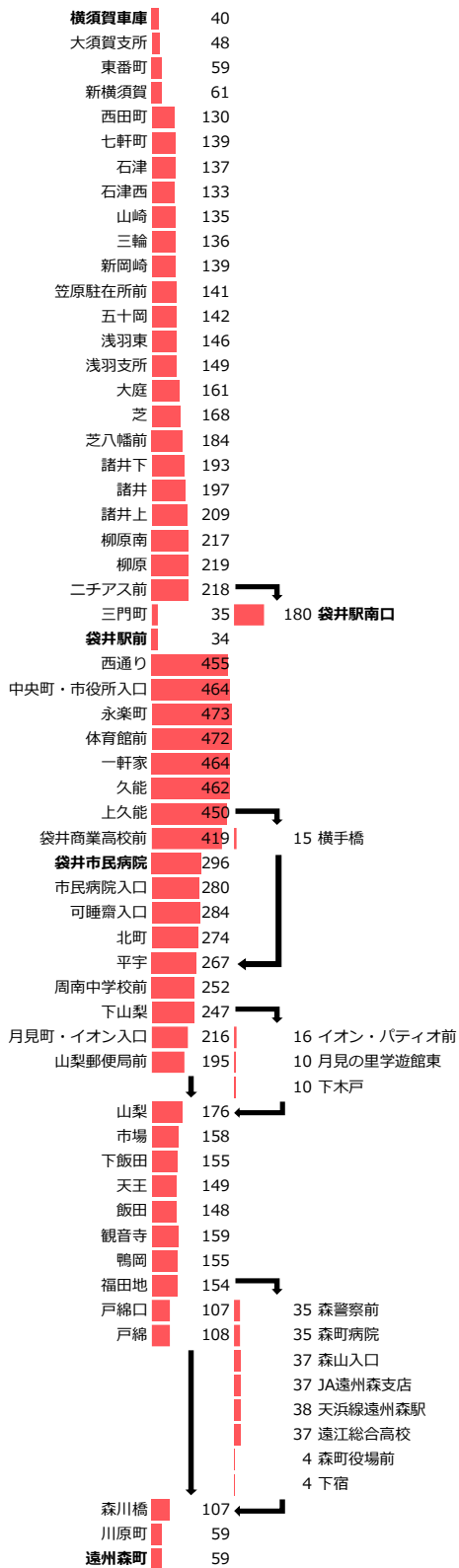
●秋葉中遠線・秋葉線（バス停乗降人数）



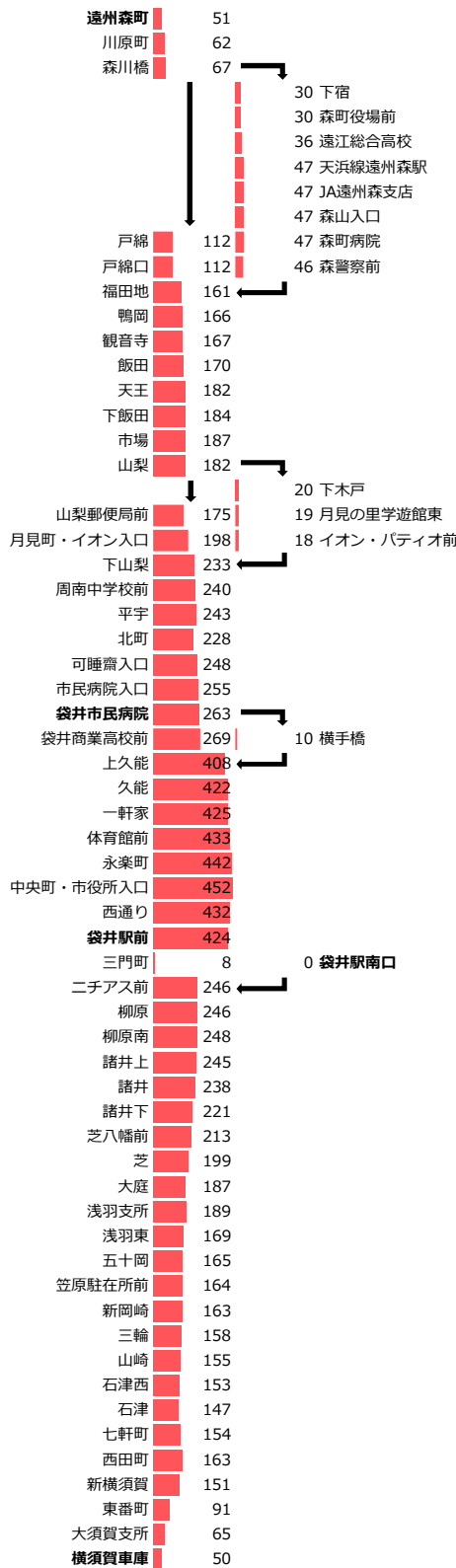


区間別通過人員（秋葉線・秋葉中遠線全系統合計）

横須賀車庫→袋井駅前→遠州森町



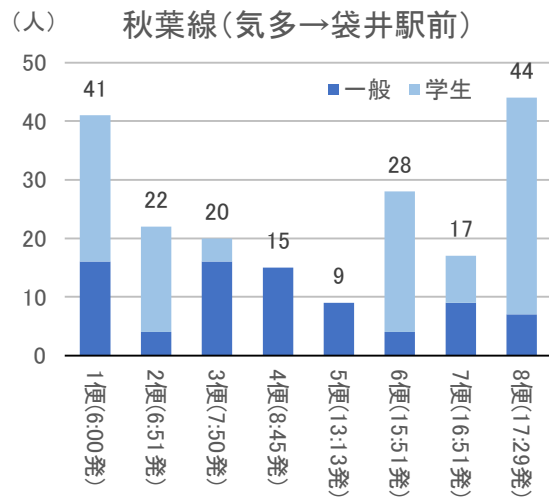
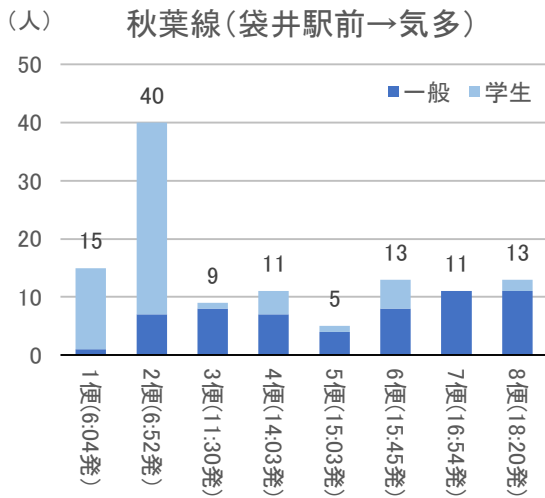
遠州森町→袋井駅前→横須賀車庫



※気多～遠州森町と横須賀車庫～大東支所間は掲載を省略

●秋葉線（便別の乗車人数）

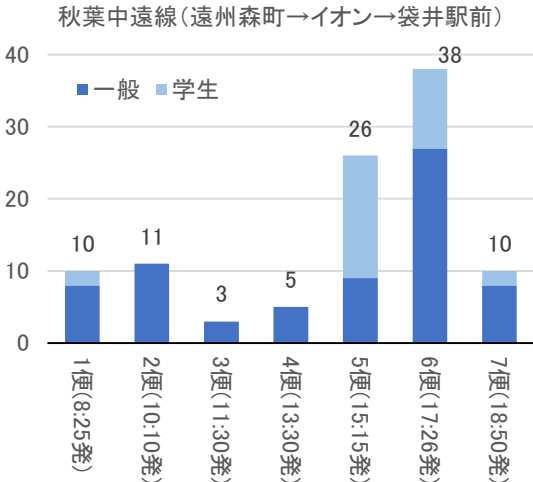
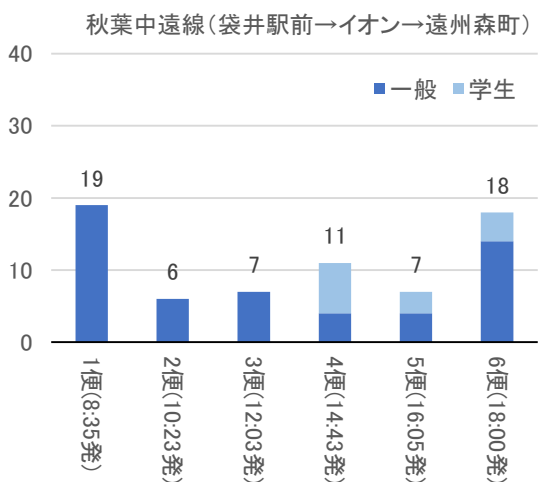
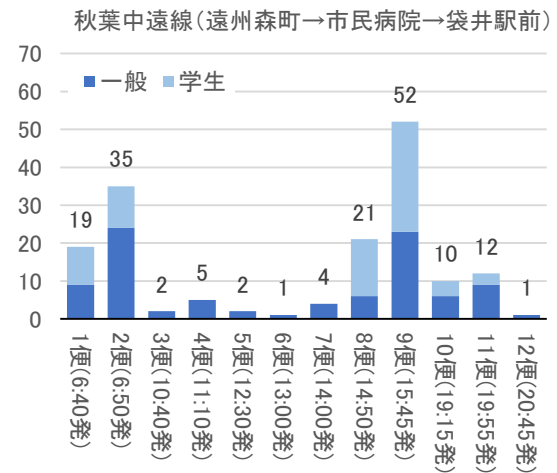
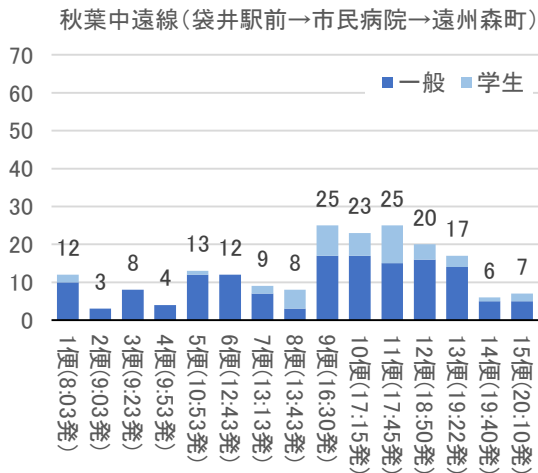
・調査日：令和元年7月1日(月)（天候：雨）



●秋葉中遠線（便別の乗車人数）

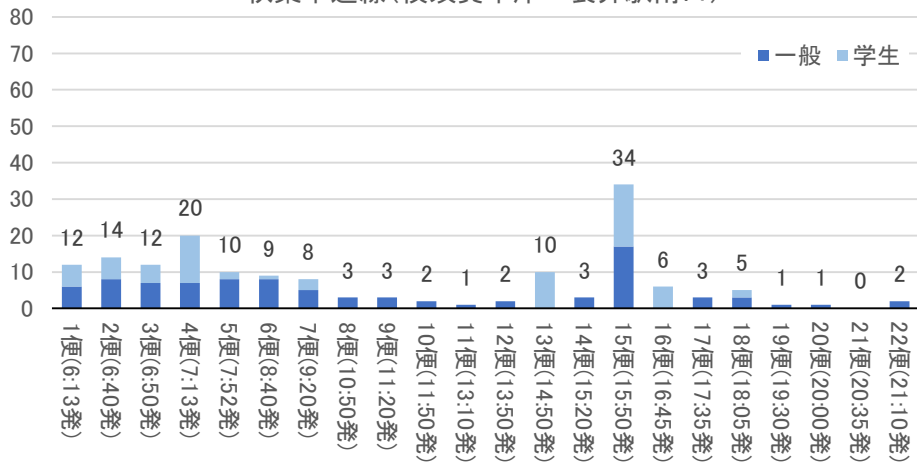
・調査日：令和元年7月1日(月)（天候：雨）

※1日1、2便の系統は省略

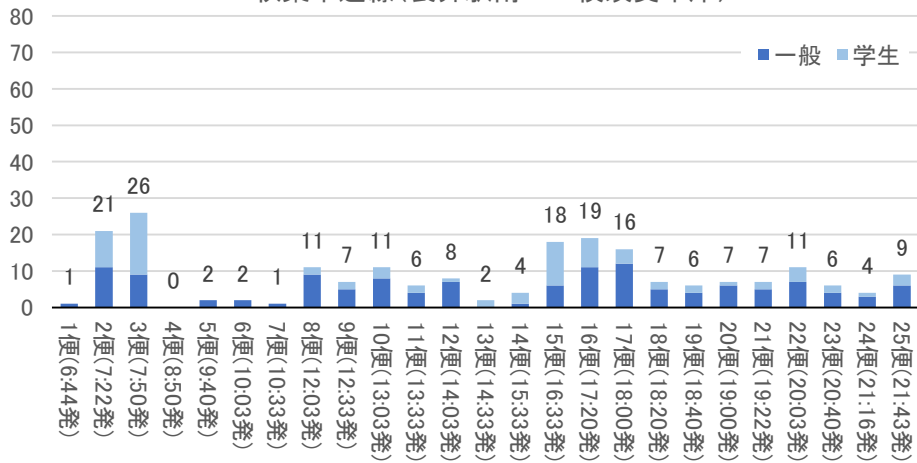




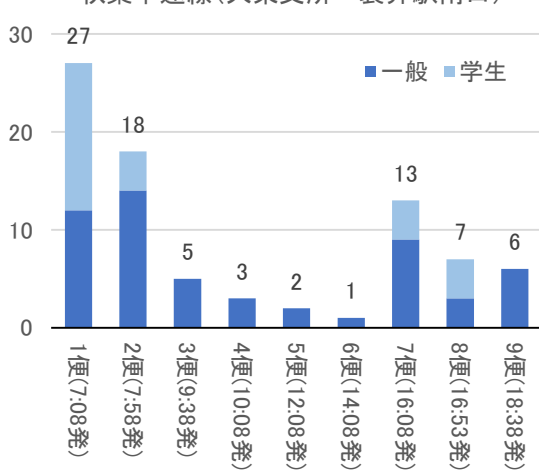
秋葉中遠線(横須賀車庫→袋井駅南口)



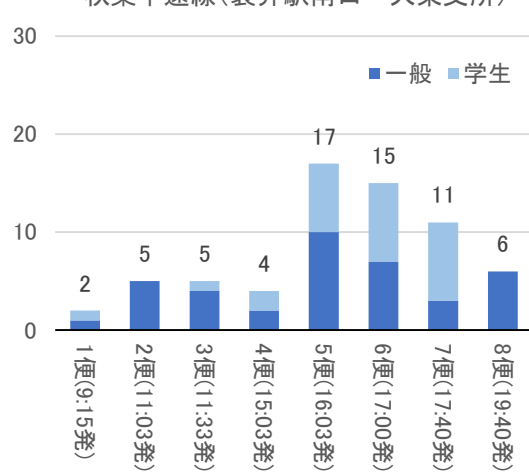
秋葉中遠線(袋井駅南口→横須賀車庫)



秋葉中遠線(大東支所→袋井駅南口)



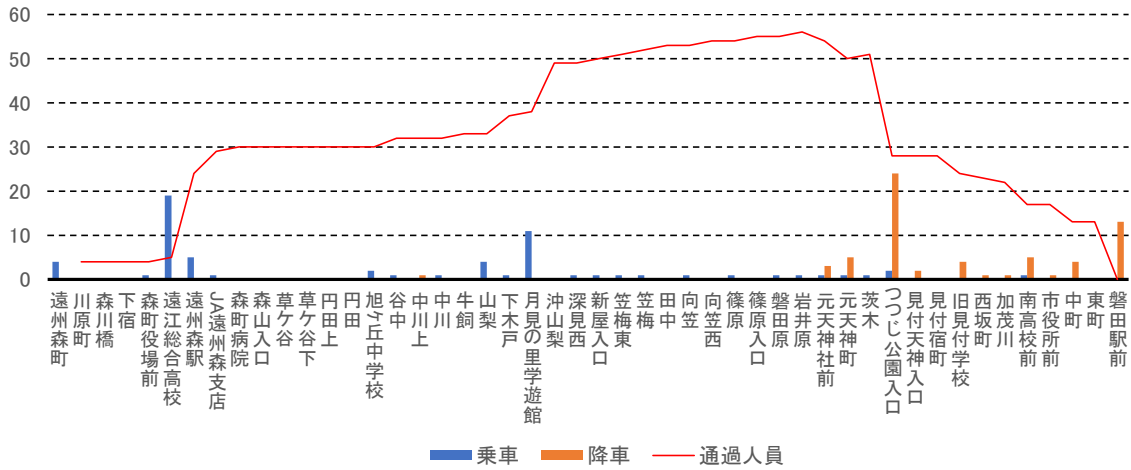
秋葉中遠線(袋井駅南口→大東支所)



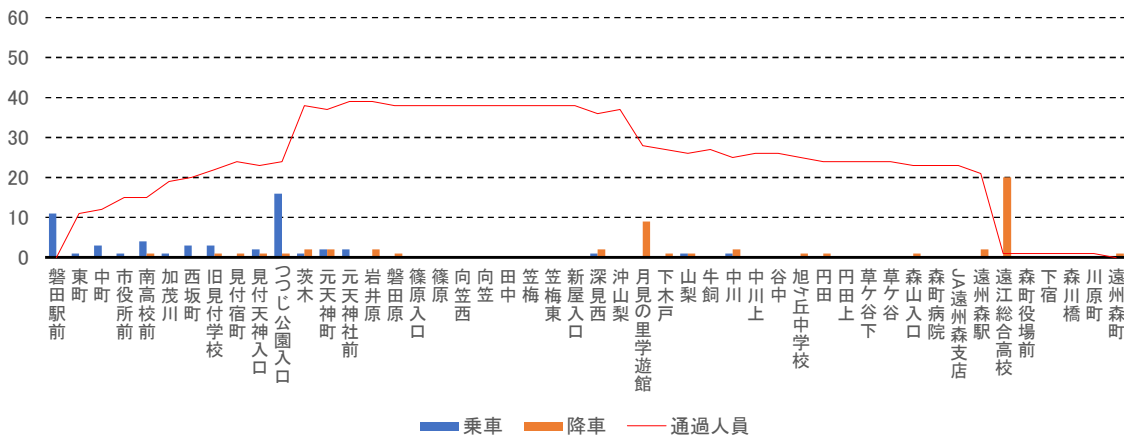
●磐田線（バス停乗降人数）

・調査日：令和2年1月17日(金)終日(天候：曇りのち雨)

【バス停通過人員(磐田駅行き)】



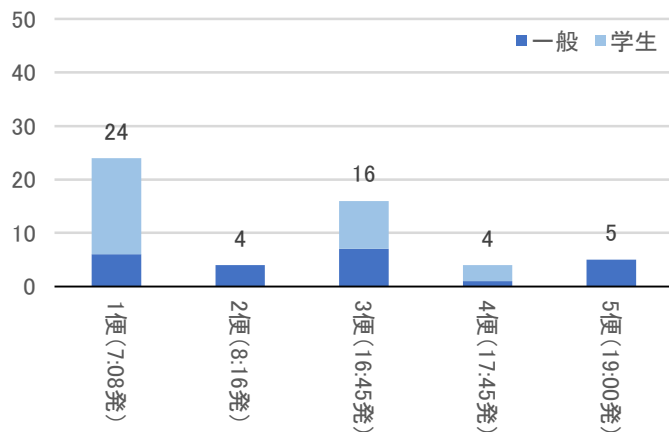
【バス停通過人員(遠州森町行き)】



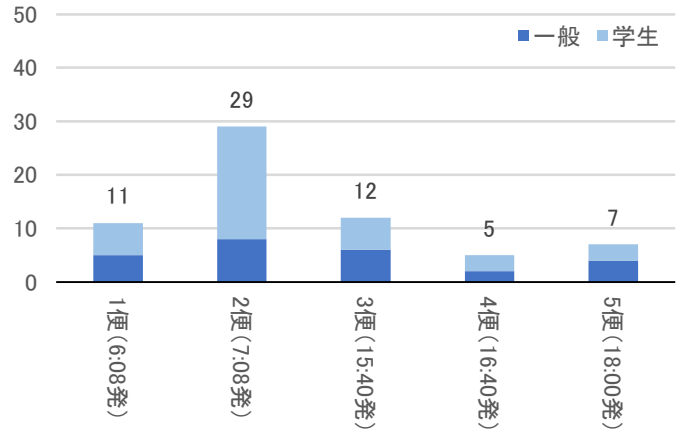
●磐田線（便別の乗車人数）

・調査日：令和2年1月17日(金)終日(天候：曇りのち雨)

磐田線(磐田駅前→遠州森町)



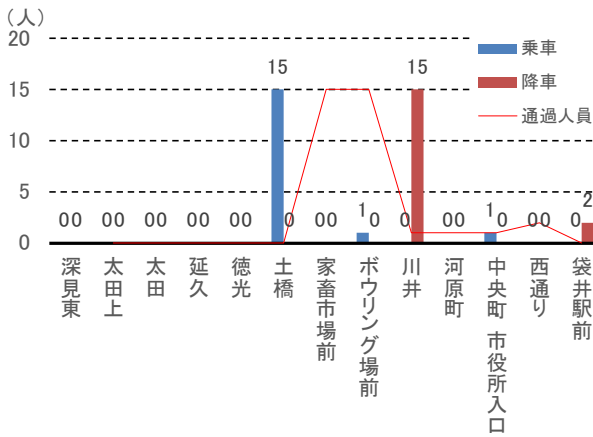
磐田線(遠州森町→磐田駅前)



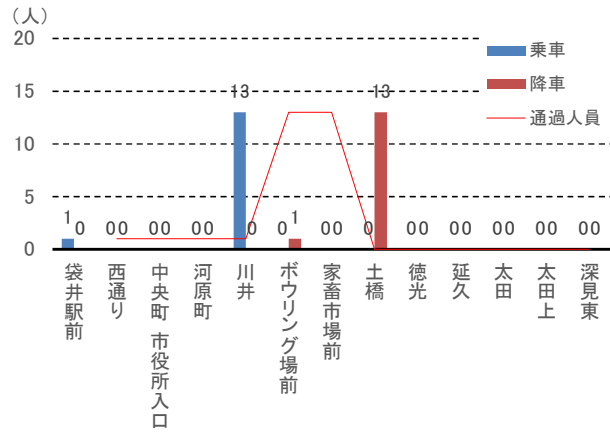
●今井線（バス停乗降人数）

・調査日：令和2年6月23日(水)終日(天候：晴れ)

【バス停通過人員(袋井駅行き)】



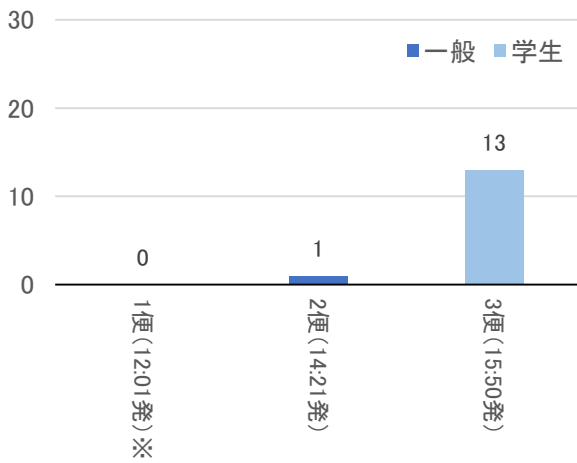
【バス停通過人員(深見東行き)】



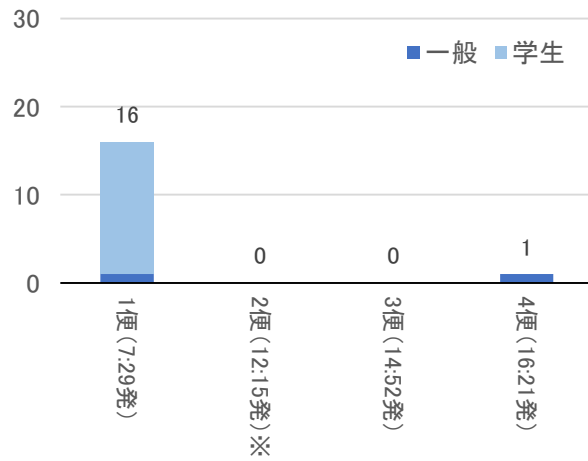
●今井線（便別の乗車人数）

・調査日：令和2年6月23日(水)終日(天候：晴れ)

今井線(袋井駅前→深見東)



今井線(深見東→袋井駅前)



### (3) 自主運行バス

#### 【運行状況】

- ・自主運行バスは、北部地域2路線（通称：フーちゃん号）、南部地域2路線（通称：メローバス）を運行（定時定路線型）している。
- ・北部地域と南部地域の路線は一部フリー降車区間を設けており、現在の運行は遠鉄アシスト株式会社に委託している。令和3年4月1日から路線を変更（路線短縮及び増便）する予定であるため、令和2年度と令和3年度以降に区分して運行概要を以下に整理した。
- ・なお、平成30年度まで「山梨・中東遠総合医療センター線」と「浅羽・中東遠総合医療センター線」も自主運行バスとして運行していたが、利用が低調だったこと、運行事業者が確保できなことに伴い「デマンドタクシー」に移行している。

#### ■運行概要（令和2年度）

地域(通称)	路線名	起点	終点	運行本数		運賃
				平日	土日祝	
南部地域 (メローバス)	浅羽・田原・袋井駅線	袋井駅南口	浅羽支所	上3 下3	—	1乗車 100円 ※
	大野・笠原・袋井駅線	袋井駅南口	大野北	上3 下3	—	
北部地域 (フーちゃん号)	三川・今井・袋井駅線	袋井駅北口	山田公会堂	上3 下3	—	
	宇刈・袋井東・袋井駅線	袋井駅北口	春岡上	上3 下3	—	

※未就学児、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳の保有者は無料

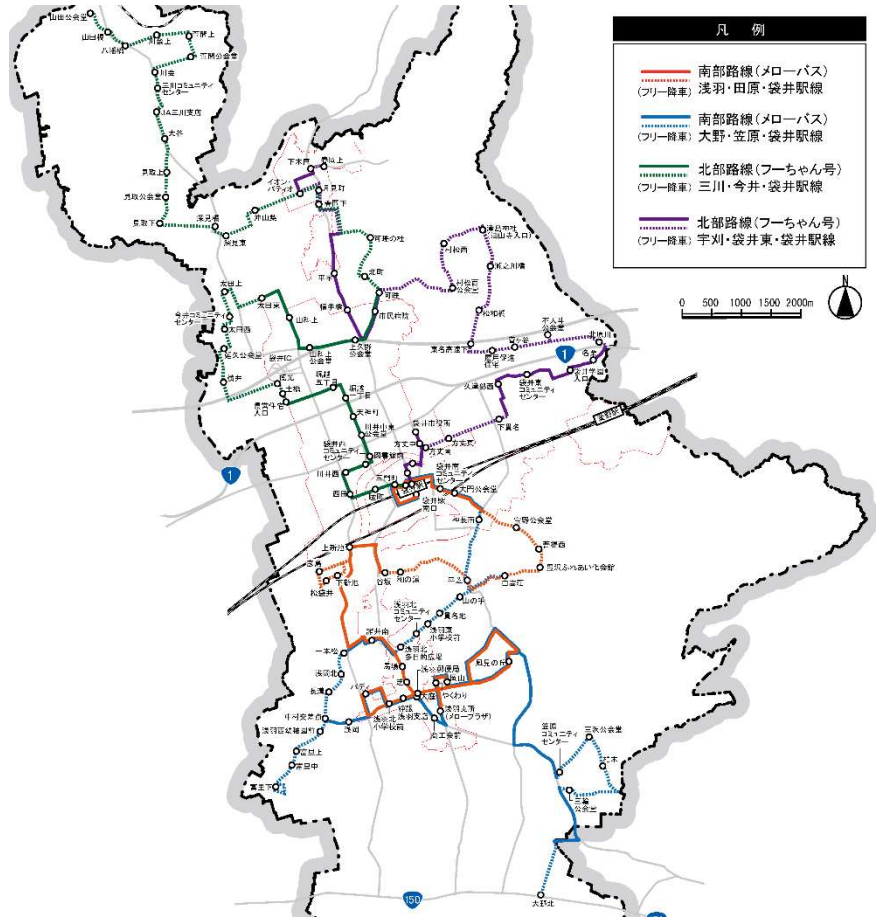


#### ■運行概要（令和3年度～令和4年度）

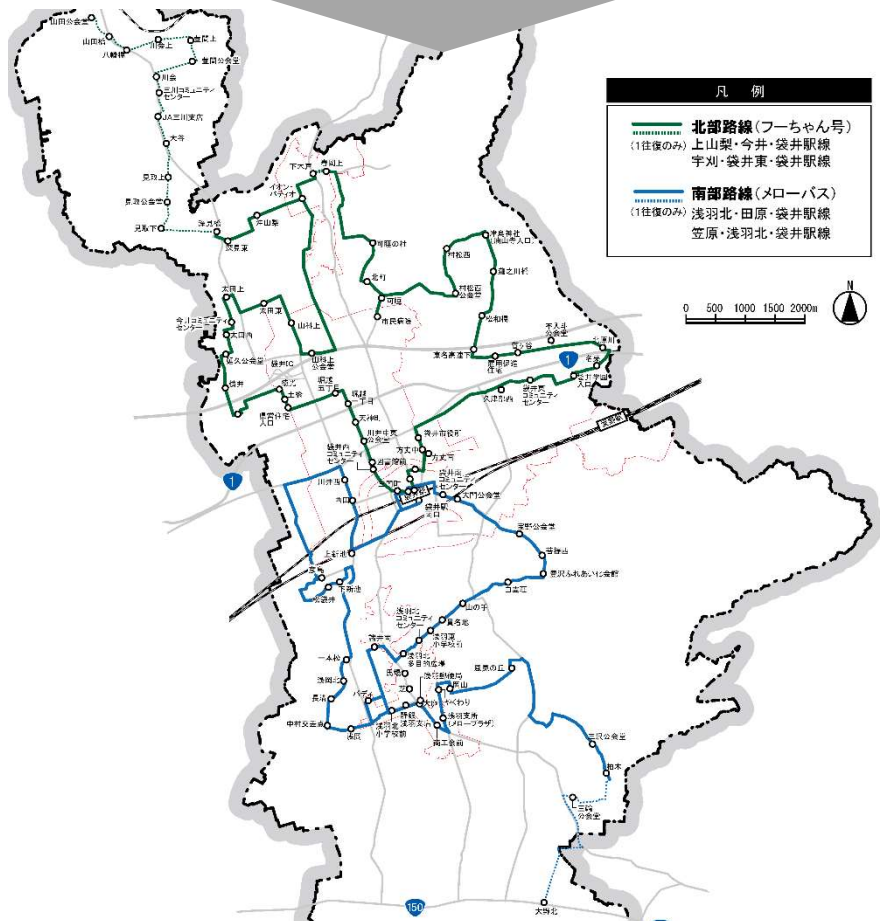
地域(通称)	路線名	起点	経由	終点	運行本数		運賃
					平日	土日祝	
メローバス	南部循環線(右回り)	袋井駅南口	浅羽支所	袋井駅南口	6便	—	1乗車 100円※
	南部循環線(左回り)				7便	—	
フーちゃん号	北部循環線(右回り)	袋井駅北口	イオン・パティオ	袋井駅北口	5便	—	
	北部循環線(左回り)				6便	—	

※未就学児、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳の保有者は無料

■路線図（令和2年度）

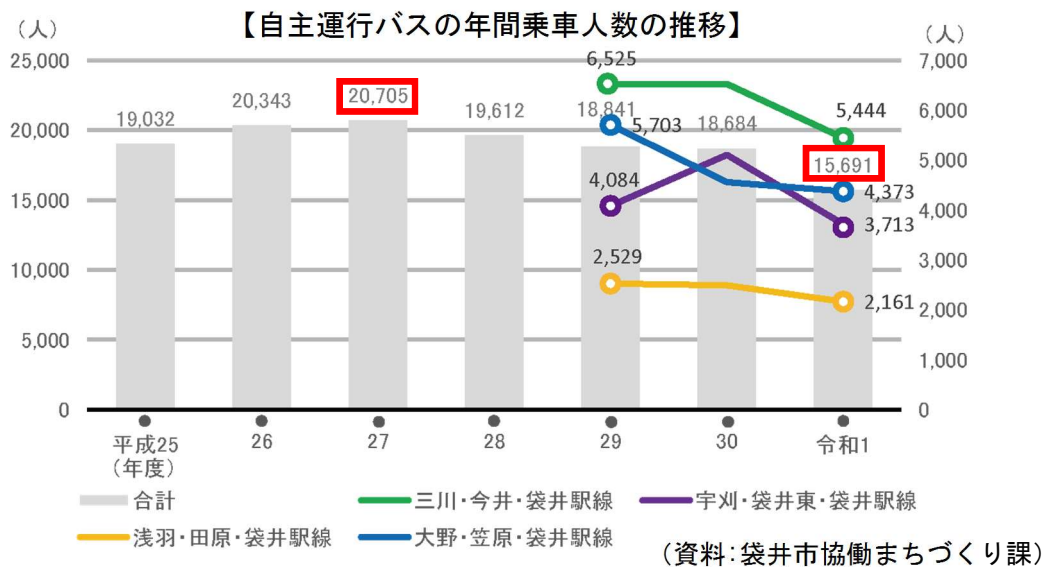


■路線図（令和3-4年度）



## 【利用状況】

- ・ 自主運行バスの利用状況は平成25年度以降、減少傾向にある。
- ・ なお、平成30年度から令和元年度にかけて乗車人数が減少しているのは、一部路線をデマンドタクシーに変更したためである。また、年度末は新型コロナウイルスの影響により利用が落ち込んだことが予想される。



### 【利用実態調査】

- ・現行の自主運行バスについて乗降調査データを使用し、バス停ごとの一日平均乗降人数と便別乗車人数を図示(次頁以降)するとともに、利用実態を以下に整理した。
- ・乗降調査データは以下の期間の調査結果を用いた。

### 【活用データ概要】

- 調査期間：令和元年6月17日(月)－6月21日(金)の平日5日間
- 対象路線：自主運行バス4路線(各路線との1日上り3便、下り3便)
- 整理事項：バス停別の一日平均乗降人数／便別乗車人数

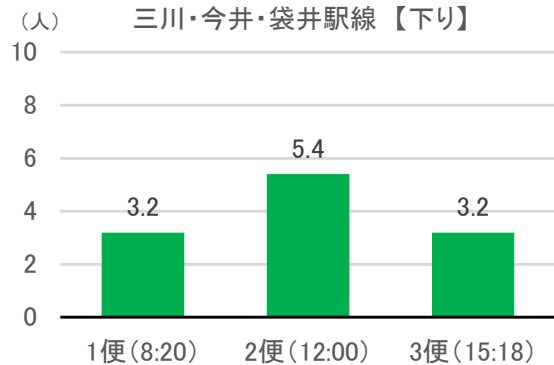
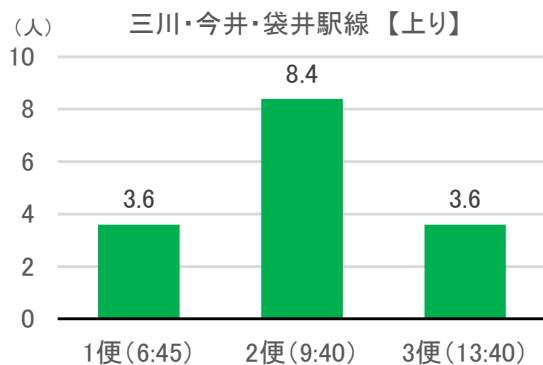
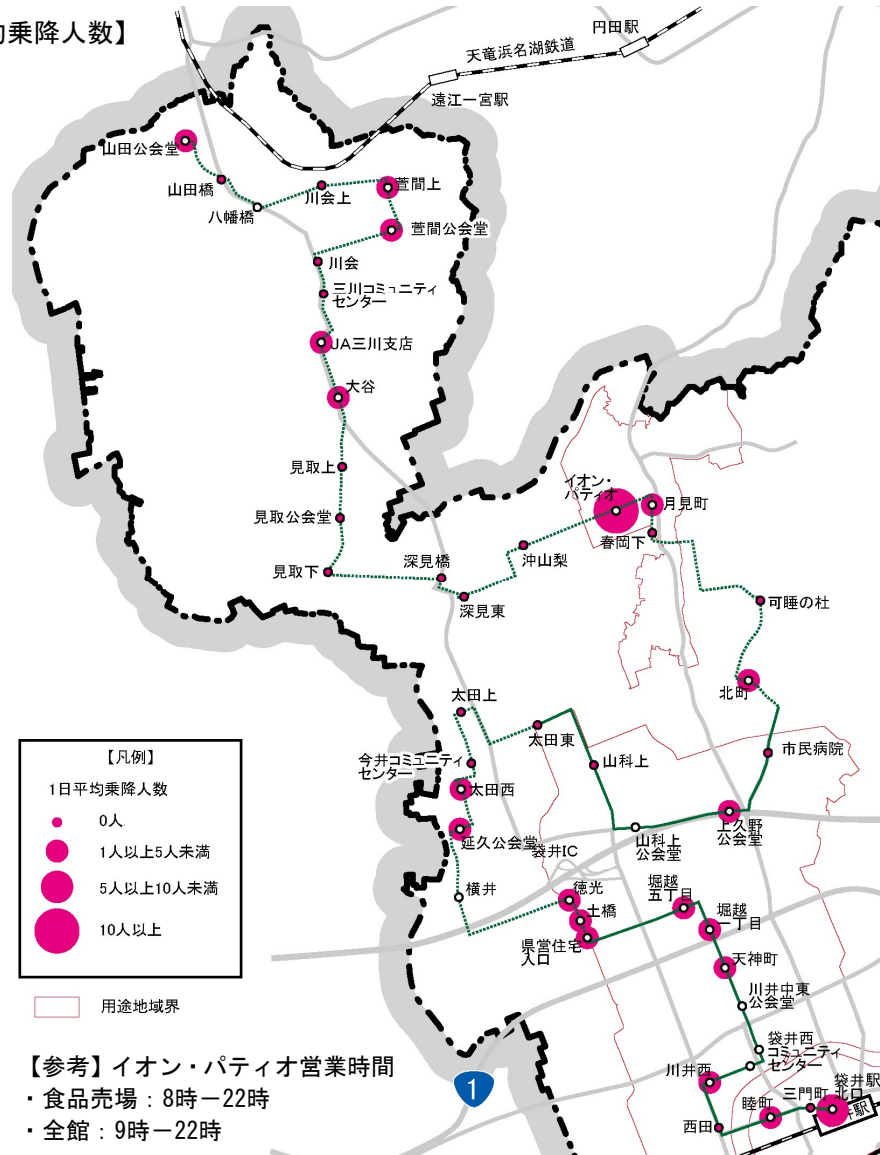
#### 《乗降調査の結果まとめ》

- 全路線とも1便あたりの平均乗車人数は10人未満である。特に、「浅羽・田原・袋井線」は利用のない便も存在している。
- 利用者の主な目的地は、北部路線(フーちゃん号)が「イオン・パティオ」と「袋井駅」、南部路線(メローバス)が「袋井駅」となっている。
- 上り(行き)に比べ下り(帰り)の乗車人数が少ないことから、帰りはバスの時間が合わず別の手段(タクシー等)で帰宅していると予想される。

## ●路線①：三川・今井・袋井駅線

- ・乗降人数が比較的多いバス停は、上位から「イオン・パティオ」約12人/日、「袋井駅北口」5人/日となっている。
- ・「市民病院」は1日1人未満と非常に少ない。
- ・便別乗車人数は上り下りとも2便が最も多く、主にイオンへの買い物利用。

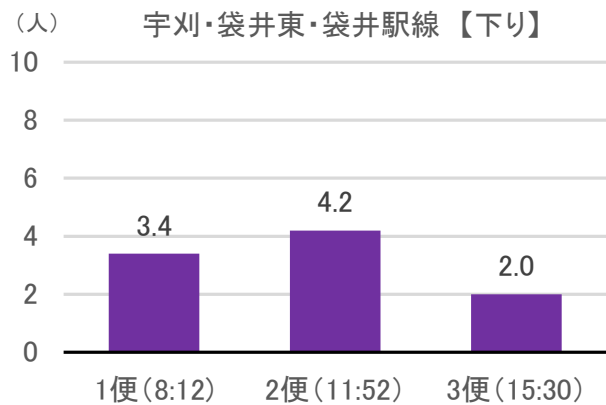
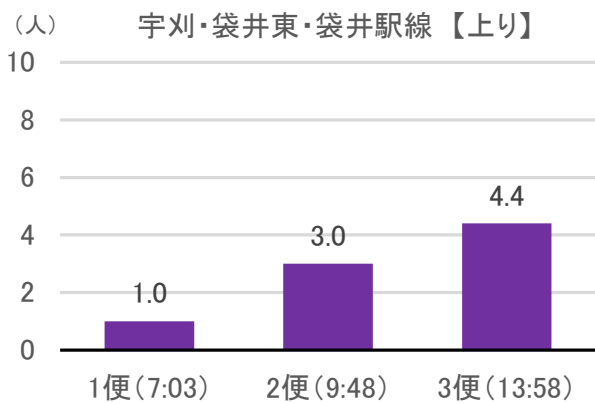
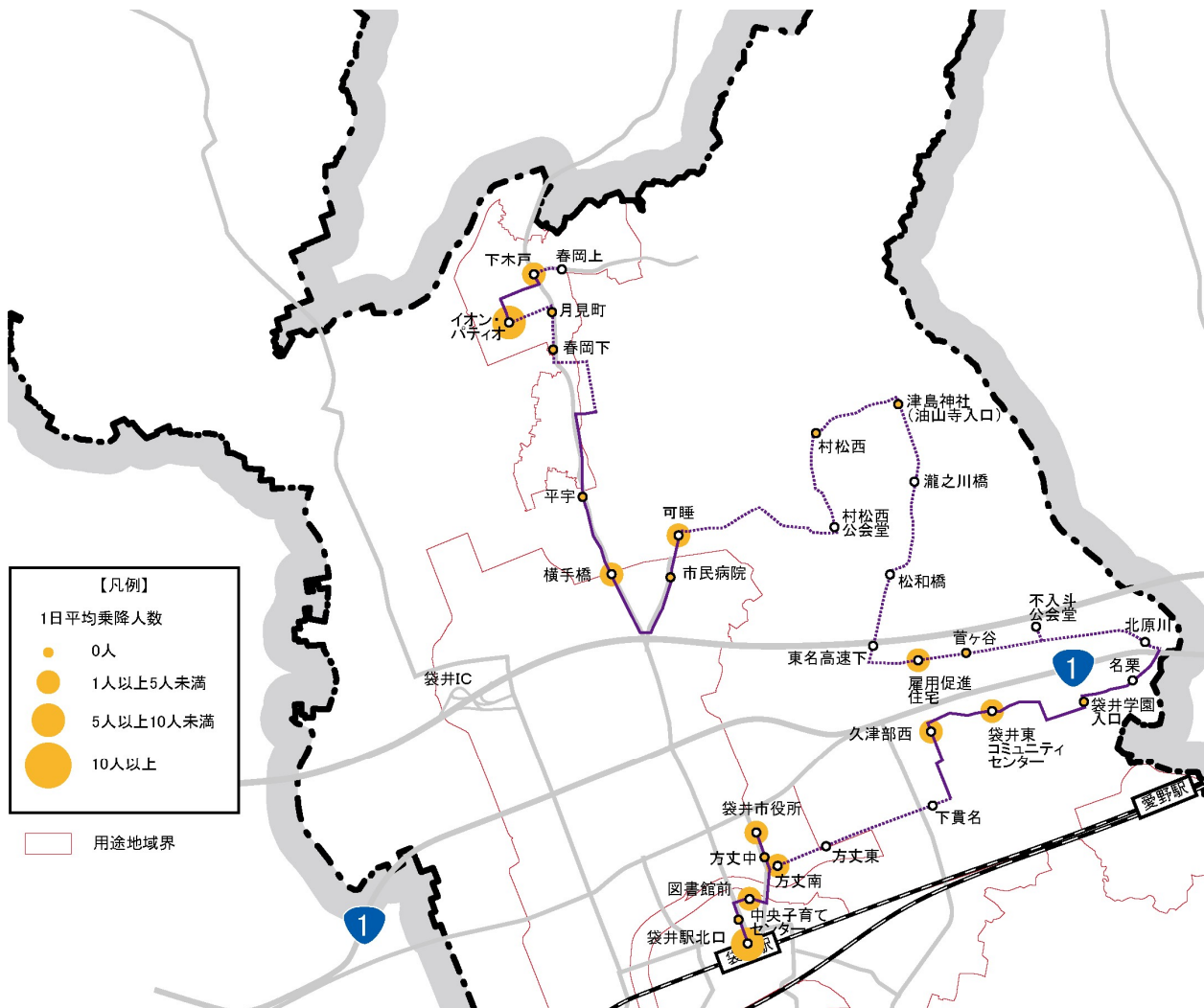
【バス停別の一日平均乗降人数】





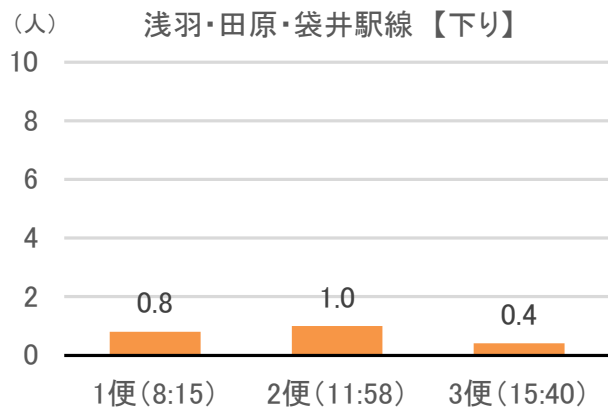
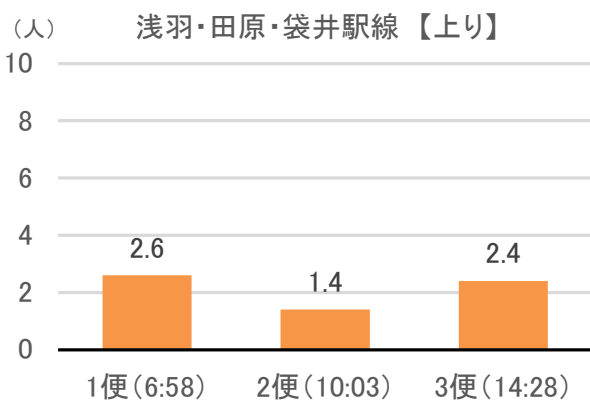
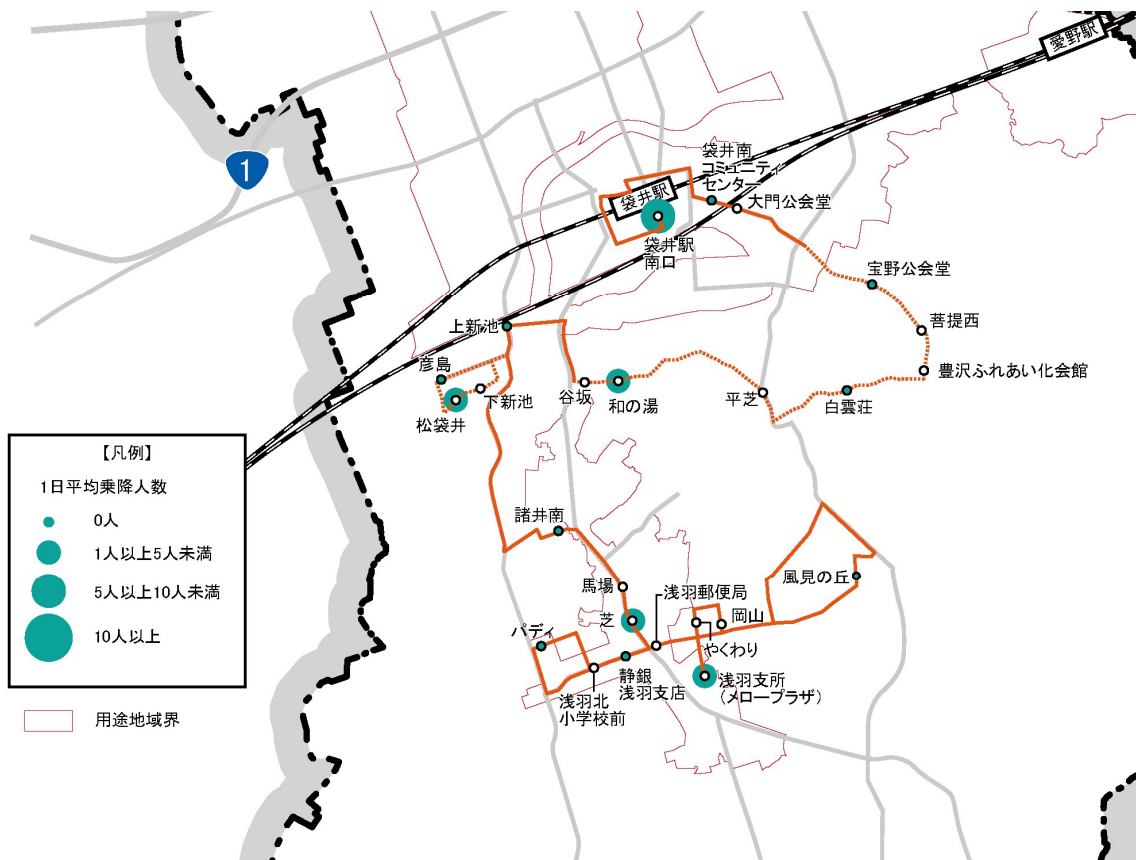
## ●路線②：宇刈・袋井東・袋井駅線

- ・乗降人数が比較的多いバス停は、上位から「イオン・パティオ」約8人/日、「袋井駅北口」約5人/日、「雇用促進住宅」約4人/日となっている。
- ・便別乗車人数は上り3便(13:58発)、下り2便(11:52発)が最も多く、主にイオンの買い物利用である。



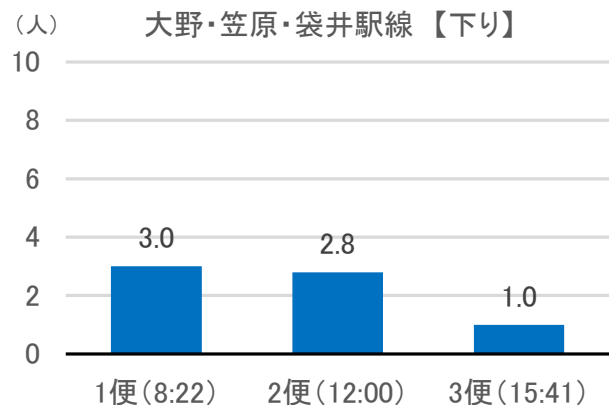
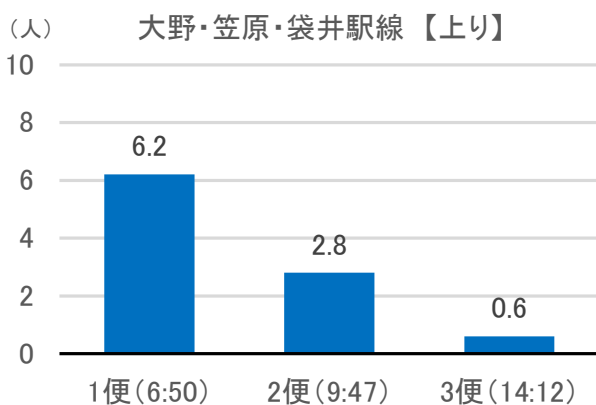
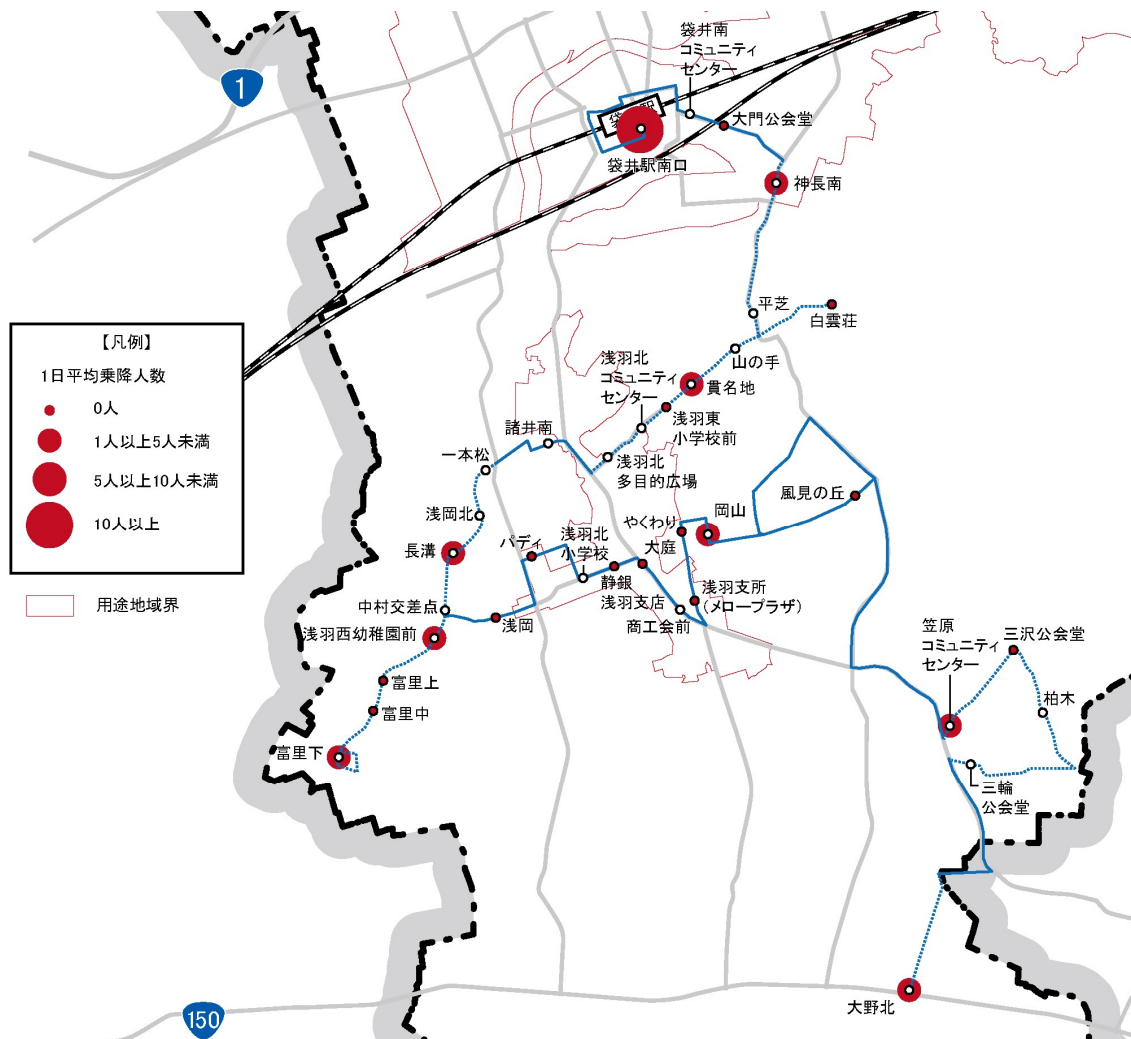
### ●路線③：浅羽・田原・袋井駅線

- ・ 自主運行バス4路線の中で最も路線長が短い。
- ・ 乗降人数が比較的多いバス停は、上位から「袋井駅南口」約7人/日、「和の湯」約3人/日
- ・ 商業施設「パディ」の乗降は1日1人未満と非常に利用が少ない。
- ・ 便別乗車人数は、他の路線と比較しても1便あたりの乗車人数が非常に少なく、下りはほぼ0人に近い状況である。
- ・ 行き(上り)に比べ帰り(下り)の乗車人数が少ないことから、帰りは別の手段(タクシー等)で帰宅していると考えられる。



## ●路線④：大野・笠原・袋井駅線

- ・乗降人数が比較的多いバス停は、上位から「袋井駅南口」約10人/日、「大野北」約4人/日で、大野、富里地域で利用が見られる。一方、商業施設「パディ」の乗降は非常に少ない。
- ・便別乗車人数は上り1便(6:50発)が最も多く、主に「袋井駅南口」で降車しており、袋井駅南側の診療所を目的とした移動と予想される。
- ・行き(上り)に比べ帰り(下り)の乗車人数が少ないことから、帰りは別の手段(タクシー等)で帰宅していると考えられる。



#### (4) デマンドタクシー

##### 【運行状況】

・デマンドタクシー(予約型乗合タクシー)は、平成29年度から浅羽南地区、宇刈地区に、令和元年度から中東遠総合医療センター線(2路線)と法多線を運行している。



・浅羽南地区、宇刈地区は「ドア・ツー・ドア型」、中東遠総合医療センター線(2路線)と法多線は「停留所型」の運行であり、いずれも事前登録・電話予約制である。

・現在は運行を遠鉄タクシー(株)に委託している。

##### ■運行概要

路線名・地区名	運行方法	起点	終点	基本ダイヤ ・運行時刻	運賃
山梨・中東遠総合医療センター線	停留所型	パティオ	中東遠総合医療センター	上3 下3	1乗車 200円※1
浅羽・中東遠総合医療センター線		浅羽支所	中東遠総合医療センター	上5 下4	
法多線		袋井駅	法多山	上12 下11	
宇刈地区	ドア・ツー・ドア型	—	(目的地設定 ※3)	1日10便	1乗車400円※2 (乗合300円)
浅羽南地区		—		1日10便	

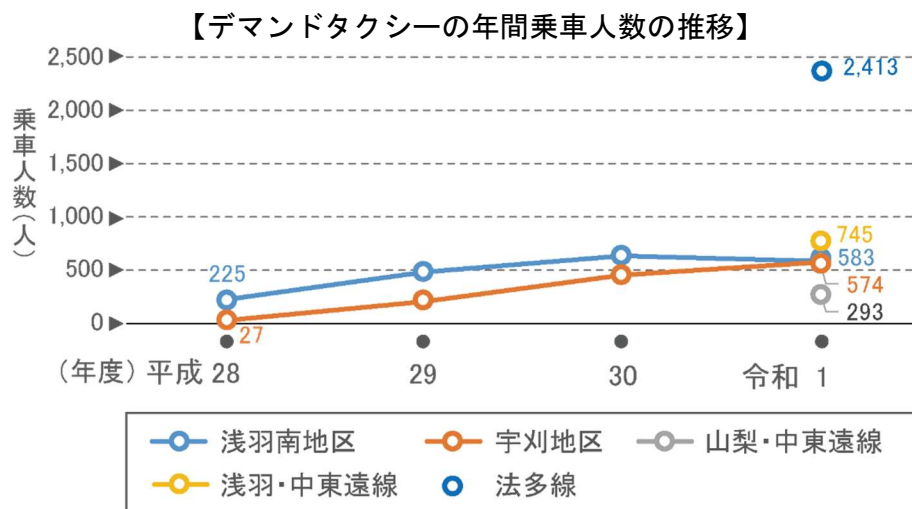
※1) 未就学児は無料(大人1人につき2人まで)、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健手帳・戦傷病者手帳の保有者は1乗車100円

※2) 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健手帳・戦傷病者手帳の保有者は1乗車200円(乗り合う場合は150円)

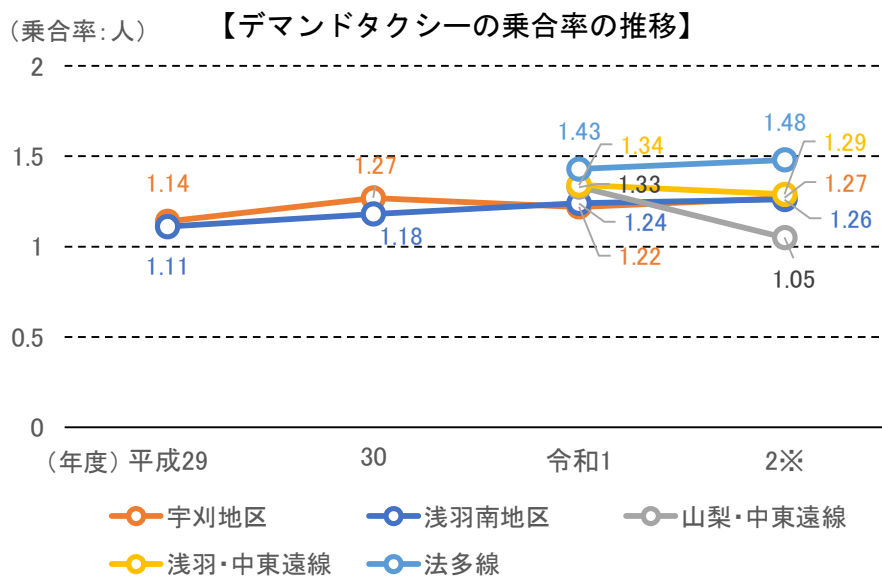
※3) 目的地: 公共施設、金融機関、商業施設、医療機関、バス停(秋葉バス、自主運行バス)

## 【利用状況】

- ・浅羽南地区、宇刈地区は導入から3年間が経過し、延べ乗車人数は微増している。法多線は運行本数が多いため浅羽南、宇刈地区より延べ乗車人数が比較的多くなっている。
- ・利用者1人あたりの運行経費(令和元年度)は約1,600円/人となっている。
- ・乗合率(乗車人数/運行台数)は1.2~1.5人程度であり、中東遠総合医療センター線の2路線は減少、それ以外は微増もしくは横ばいで推移している。



(資料：袋井市協働まちづくり課)



※令和2年度は4月~12月の平均値 (資料:袋井市協働まちづくり課)

## (5) 地域協働運行バス

### 【運行状況】

・地域協働運行バスは、浅羽東地区(めだか号)が平成22年12月から、三川地区(かわせみ)が平成25年2月から導入している地域ボランティアによる無料の輸送サービスである。



- ・運行は市が運行委員会に委託(車両貸与、実費、保険代等の必要経費)しており、各地区のコミュニティセンターにて事前登録・事前予約などを行っている。
- ・運行内容は各運行委員会で異なる(下表参照)。

### ■運行概要

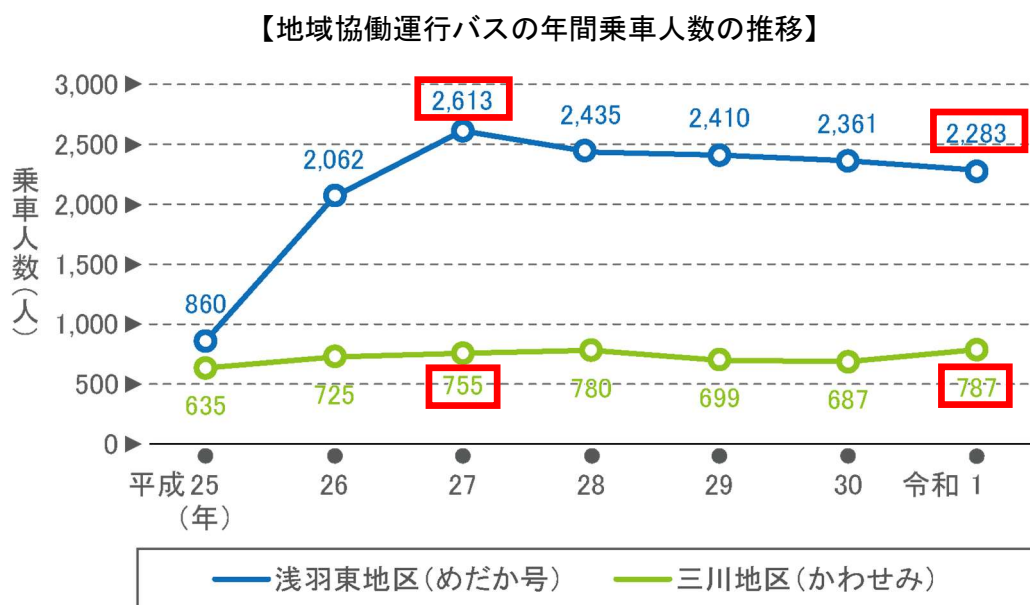
地区(愛称)	運行方法	運行日・時間	主な目的地※	運転登録者
浅羽東地区 (めだか号)	停留所型	火曜日～土曜日 8:30～17:00	パティ、浅羽支所、コミセンなど	13人
三川地区 (かわせみ)	ドア・ツー・ドア型	月曜日～土曜日 8:00～17:00程度	パティオ、月見の里学遊館、磐田市立総合病院など	26人

※市外の目的地にも対応

(資料：袋井市協働まちづくり課)

## 【利用状況】

- ・年間乗車人数は、浅羽東地区(めだか号)が平成27年度以降、微減傾向にあり、三川地区(かわせみ)はほぼ横ばいで推移している。(注：各地区で年間の運行日数は異なる)
- ・令和元年度の「1日あたりの平均乗車人数」は、浅羽東地区(めだか号)が10.4人、三川地区(かわせみ)は4.1人となっている。
- ・また、令和元年度の「利用者1人あたりの運行経費」は、浅羽東地区(めだか号)が約650円/人、三川地区(かわせみ)が約1,900円/人となっている。



(資料：袋井市協働まちづくり課)

## (6) タクシー

### 【運行状況】

- ・本市には3社のタクシー事業者(袋井交通、袋井タクシー、森町タクシー)が存在しており、袋井交通(株)においては各所に車庫や乗り場を有している。
- ・なお、令和2年度時点で自主運行バスやデマンドタクシーの運行委託は、市外のタクシー事業者2社に行っている。
- ・また、各事業者の保有する車両のうち、ユニバーサルデザインタクシーの割合は1割未満となっている。



### ■市内タクシー事業者の車両内訳

事業者名	所管営業所	特大	大型	普通	福祉	UD※
袋井交通株式会社	本社(新屋)、田町車庫、浅羽車庫、三門町乗り場 他、各所に乗り場あり	2台	-	25台	1台	<b>2台</b>
袋井タクシー株式会社	本社(山科)	1台	-	26台	1台	-
森町タクシー合資会社	山梨営業所	1台	-	7台	-	-

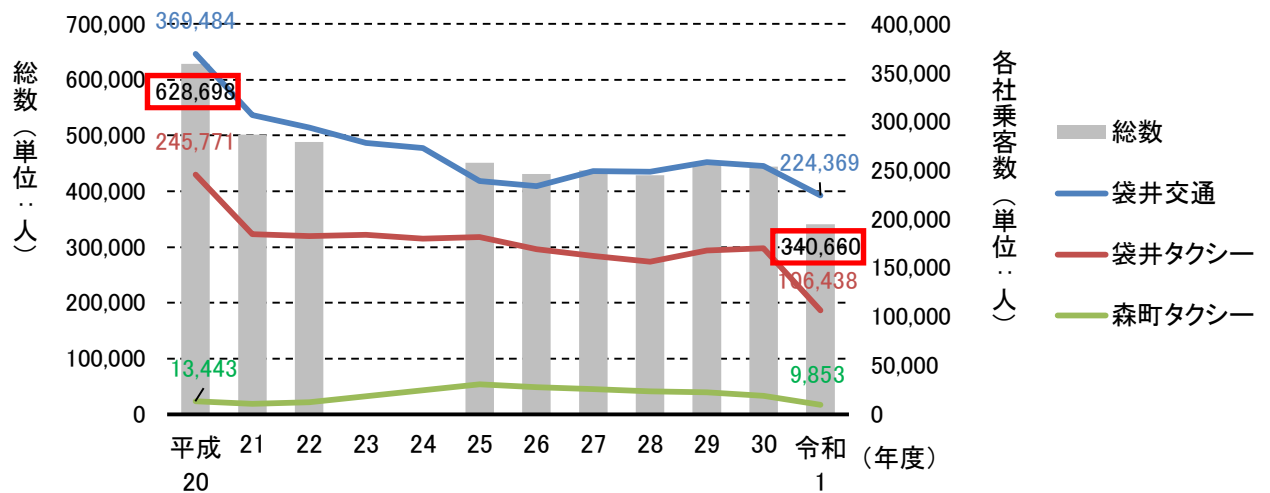
※UD：ユニバーサルデザイン

(資料：静岡県タクシー協会ホームページ)



## 【利用状況】

- ・市内3社の年間乗車人数の推移を見ると、直近5年を見るとほぼ横ばいであるが、10年前と比較すると約3割減となっている。
- ・なお、令和1年度は新型コロナウイルスの影響で大幅減となっている。



(資料：袋井市統計台帳)

## (7) 公共交通に係る行政負担

- ・公共交通の運行に必要な市が負担する経費は、令和元年度で約1億円を要している。これまで増加傾向にあったが、近年は横ばいで推移している。
- ・令和2年度には遠州鉄道(株)の路線廃止に伴い、経費は減ることが予想される。
- ・公共交通に対する市民1人あたりの負担額は、約1,100円(人口88,221人)となっている。

